



# 高大連携通信

## 新センター長ご挨拶

リベラルアーツセンター センター長 築瀬 千詠



2022 年度よりリベラルアーツセンター長を拝命しました築瀬です。一般企業での勤務や本学非常勤講師を経て 2019 年に入職後、キャリア教育、金融リテラシー教育に加え SDGs の教育にも力を入れています。どうぞよろしくお願いいたします。

今年春、2 年間の学生時代全てをコロナ禍のうちに過ごした湘北生が社会に巣立っていきました。入学式も無いまま 1 か月余りの自宅待機、5 月にスタートしたオンライン授業では教員も学生もパソコンの前で試行錯誤の連続でした。しかし、学生たちは様々な制約の中でも決して怯むことなく、就活のオンライン面接にも果敢に挑戦して自分の道を切り拓いていきました。最近、入社後半年を経た卒業生から「仕事を任されてやりがいを感じている」、「湘北で学んで本当によかった」

との近況報告が届き、遅しく成長していく姿に頼もしさを感じました。

「教養は幸運なときには飾りであるが、不運のなかにあっては命綱となる」(アリストテレス)(『何のための「教養」か』桑子敏雄)。リベラルアーツセンターでは、予測困難で正解のない時代を生きる学生たちが「より良く生きる」ために必要な、短期大学ならではの教養教育の充実に今後も取り組んでまいります。高校の先生方との課題の共有や解決策の模索など実質的な連携を図るため、引き続きご理解とご協力を賜りますようよろしくお願いいたします。

## 第 19 回高大連携教育研究会

2022 年 9 月 8 日、第 19 回教育研究会を開催しました。今回も対面とオンラインを併用した「ハイフレックス形式」で行いました。対面で 7 校、オンラインで 4 校の高校がご参加くださいました。講演は相原高校商業科の林潔明先生より「高校における BYOD の取組状況」のテーマでお話いただきました。講演では、令和 4 年度第一学年の端末購入状況、Google Classroom の活用実践例、課題点などをご紹介いただきました。質疑応答・情報交換では、各高校間で端末の活用状況に大きな差異があることがわかり、それぞれの課題も共有されました。大学側も、高校の現状を踏まえ、よりスムーズな高大連携のために継続的に検討する必要があるとの認識を全体で共有することができ、大変意義のある研究会となりました。



### 高等学校におけるBYODの取組状況



神奈川県立相原高等学校  
商業科 林 潔明

### ご参加いただいた高校

ご来学：神奈川県立愛川高等学校、神奈川県立相原高等学校、神奈川県立厚木北高等学校、神奈川県立寒川高等学校、神奈川県立高浜高等学校、神奈川県立秦野総合高等学校、神奈川県立平塚農商高等学校  
オンライン参加：神奈川県立厚木商業高等学校、神奈川県立厚木東高等学校、神奈川県立二宮高等学校、神奈川県立平塚湘風高等学校

## 出張授業報告

今年度も出張授業は、対面で行うものと、オンライン対応のプログラムを用意いたしました。コロナ禍も3年目となり、少しずつ対面での授業の依頼が戻ってまいりました。

### 厚木商業高校

#### 「イノベーションを起こした商品」

総合ビジネス・情報学科 講師 鈴木 孔明



体育館で高校1年生全員に向けて授業を行いました。戦後日本がイノベーションを起こした商品の中から、『SONY ウォークマン』と『任天堂ファミリーコンピュータ』の2つを主に解説しました。高校生にとっては生まれる前の話でしたが、このイノベーションが現代にこのようにつながっているのかと点と点がつながった様子でした。

生徒自身の頭をフル回転させるべくクイズ形式で授業の方は進んでいき、最後に、実際に大画面プロジェクターを使って、ファミコンソフト『ドンキーコング』を数人に体験してもらいました。大学で学ぶことの面白さを体感できる授業となりました。(2022年6月9日実施)

#### 「IT(デジタル)化で働き方はどう変わる？」

総合ビジネス・情報学科 講師 金澤 良晃

IT化やデジタル化などの用語理解だけではなく、「いつでもどこでも仕事ができる環境」に魅力を感じるか否かを問いました。

さらに今後、自動化や無人化に拍車がかかる社会で、自分が身につけていくべき能力が何かを考えてもらう授業になりました。



(2022年6月16日実施)

### 吉田島高校

#### 「保育の仕事」

保育学科 講師 大川 なつか



1年生を対象に保育の仕事を中心に授業を行いました。まず、保育職(保育士・幼稚園教諭)の仕事内容について園での1日の動きを中心に概観しました。次に、必要とされる資格・免許、大学での学びや実習の様子についてお話ししました。最後に、保育職を目指すにあたって高校時代にしておきたいことについてお伝えしました。(2022年6月20日実施)



#### 「食の仕事・これからの『食』と『調理』」

生活プロデュース学科 教授 吉川 光子



生活科学科1年生「生活産業基礎」において出張授業を行いました。まず、近年の「食」「調理」業界の変化を見ました。新しい仕事も生まれています。皆でディスカッション

し、世の中にある“名前のついていない食の仕事”にも目を向けました。食への興味をもち主体的に学び続けて欲しいという思いで講義をしました。

(2022年6月27日実施)





## 「2030SDGs ゲームワークショップ」

生活プロデュース学科 准教授 築瀬 千詠

家庭科の先生方の研修会で「2030SDGs ゲーム」のワークショップを実施しました。終了後、幹事校の先生から「SDGs は、家庭科の授業の中でも多くの分野で取り組むようになっており、ゲームではたくさんの気づきがあって本当に勉強になった」とのご感想を頂きました。カードゲームを楽しみながら積極的にご参加頂き、2時間余りがあったという間の実り多い研修会となりました。(2022年7月28日)



## 新規開講 入学前授業「湘北スタートアップセミナー」

「コミュニケーションリテラシー」の名で例年開催してきた入学前授業ですが、内容を一新し「湘北スタートアップセミナー」として新たに開講しました。「大学での学びを体験し、大学生活をスムーズに始める」「大学でICTを利用して学ぶために必要なスキル・知識を身につける」「オンラインでの参加者同士の交流を通して、『協同して問題を発見し、解決する』ことを体験する」ことを目的としました。今回は感染状況を踏まえ、まずオンデマンド授業として、学内アカウント、メール、eラーニング、Zoom など、大学生活に必要なツールについて動画で学んでいただきました。その後、特別講師の熊野森人先生によるオンライン講義「大学からはじめる、じぶん編集」に参加していただきました。新入生たちは、熊野先生の楽しい場づくりと、学生アシスタントのサポートのもと、緊張しながらもオンライン授業やグループディスカッションに取り組みました。



### 夏のオープンキャンパスで学生考案の焼き菓子を配布しました。

学生の学びの成果を実践に活かそうと、生活プロデュース学科フードコースの2年生が必修科目「食の企画と演出」で「湘北短大らしさがあるギフト用のお菓子を考案」という課題に取り組みました。6つの班に分かれ、3回の試作とプレゼンテーションを行いました。選ばれた「りんごとクリームチーズのマフィン」は地元厚木産のりんごと、連携校の中央農業高校の卵を使い、8月20日のオープンキャンパス来場者に配布いたしました。



## 湘北短期大学リベラルアーツセンター

(担当：菅野・川原・熊谷)

〒243-8501 神奈川県厚木市温水 428  
TEL:046-247-3131 / FAX:046-247-3667  
E-mail: LAC@shohoku.ac.jp  
URL: <http://scopp.shohoku.ac.jp/>  
Twitter: [https://twitter.com/shohoku\\_lac](https://twitter.com/shohoku_lac)



湘北  
ナビットくん

## 高大連携通信 Vol.23

発行日：2022年10月31日

発行元：湘北短期大学  
リベラルアーツセンター